

東京白楊だより

vol.48

2025.8.22

白楊ヶ丘同窓会東京支部
旧制函館中学校 函館中部高等学校
<https://kanchu.tokyo>

第48回親睦大会報告

第6回新人歓迎会報告

函・中・人

第80期 山本直樹
第118期 吉村玄

同期会だより

第60期 第68期 第70期

なるほど!ザ・TUBU

部活動紹介 科学部・書道部

第49回親睦大会のご案内



白楊ヶ丘同窓会東京支部長退任のご挨拶



白楊ヶ丘同窓会東京支部長
第76期 昭和49年卒

白川 正広

白楊ヶ丘同窓会東京支部長の任を9年間務めさせていただきました76期の白川正広です。皆さまには、長きにわたり温かいご支援とご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

振り返れば、支部長としての9年間は、時代の変化とともに同窓会活動の在り方も大きく変わる中、皆さまと共に歩み、さまざまな経験をさせていただいたかけがえない日々でした。コロナ禍による活動の制約や、個人情報保護の観点から名簿管理や連絡方法の見直しなど、課題も多くありましたが、その都度、皆さまの知恵とご協力に支えられ、乗り越えてくることができました。

母校は今年創立130周年という大きな節目を迎えます。私自身、76期として卒業してから、すでに50期以上の後輩が同窓生に加わっていることを思うと、世代を超えた交流の大切さを改めて実感しております。今後も若い世代の皆さまが積極的に参加し、同窓会が持続的に発展していくことを心から願っています。

このたび、81期の松永久氏が新たに支部長をお引き受けくださることとなりました。

た。松永新支部長のもと、東京支部がさらに活気ある組織となり、同窓生の絆がより一層深まることを確信しております。

コロナ禍という未曾有の状況に直面した際には、従来通りの親睦大会や交流行事の開催が困難となり、同窓生の皆さまと直接お会いする機会が大きく減ってしまいました。しかし、そのような中でも、役員の皆さまの知恵とご協力、とりわけ松永久氏のリーダーシップにより、リモートによる親睦大会を実現することができました。校長先生や同窓会会長の函館からのご参加による同時中継も取り入れ新しい形での交流を模索し、実行できたことは、柔軟な発想と熱意の賜物であり、心から感謝しております。

なお、私自身は引き続きしばらくの間、ゴルフコンペの幹事を担当させていただきます所存です。年代を問わず、多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

最後になりますが、これまでのご厚情に深く感謝申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご多幸、そして母校と同窓会のみますの発展をお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。



新支部長就任のご挨拶



白楊ヶ丘同窓会東京支部長
第81期 昭和54年卒

松永 久

皆さま、私は81期の松永久（まつなが・ひさし）と申します。

4月22日に開催された評議員会においてご承認いただき、白川支部長の後任として支部長を拝命することになりました。よろしくお願ひ申し上げます。

私は、白川支部長の下で副支部長として9年間活動をしておりましたが、振り返ってみると、後半の5年間は、新型コロナとの戦いでした。2020年度は、東京支部の親睦大会が初めて中止となり、「東京白楊だより」も、4ページの発行が精一杯でした。その後、理事会や会報編集委員会をオンラインによる会議方式で再開し、2021年度にはオンラインによる親睦大会の開催にこぎつけ、「東京白楊だより」もページ数を増やすことができました。そして、2024年度には新型コロナ前の活動にほぼ戻ることができました。この間、母校とのつながりの強化に注力し、本校卒業生でもある清水校長先生や弦木先生をはじめとした皆様のご協力により、「東京白楊だより」を母校の1年生3年生の全員に配布し、活躍が目覚ましい部活動を記事として取り上げることができました。このように、東京支部の活動が再び活発に展開できるようになったのは、白川支部長のご判断によるものであり、この場を借りて御礼を申し上げます。

そのような中で、バトンを引き継がせていただいたわけですが、この流れを継続できるよう、今年度は、

長年の懸案となっていた、東京支部のWebサイトの全面的なリニューアルを99期の朝録理事を中心としたICTチームの下で実施しました。既にご覧になった方も多くいらっしゃると思いますが、パソコンやスマートフォン、タブレット端末など、画面サイズに応じて、サイトの表示を最適化したWebサイトとして生まれ変わり、会員の皆様には利用しやすく、管理者の負担も軽減するサイト運営の実現を図ることができました。まだご覧になっていない方がいらつしやるようでしたら、「白楊ヶ丘同窓会 東京支部」で検索し、閲覧してみてください。そして、改善すべきところやご提案がありましたら、積極的にご意見をいただけると幸いです。

最後になりましたが、親睦大会について少し書かせていただきます。先ほど、「2024年度には新型コロナ前の活動にほぼ戻ることができた」と書きましたが、親睦大会はまだ新型コロナ前の規模に戻っていません。2019年度までは毎年180名前後の出席者がありましたが、昨年度は、82名となってしまいました。このような中で、2026年の親睦大会は、第50回の記念大会となります。1977（昭和52）年11月22日に36名の卒業生の皆さまが集い、第1回の親睦大会が開催されてから50回目の節目の時を迎えます。皆様にとってより多くの思い出に残る大会にできればと思っておりますので、積極的なご参加ならびにご支援・ご協力をお願い申し上げます。



『未来へつなぐ白楊魂』 夢をつかみ、次代への架け橋へ



北海道函館中部高等学校
第41代校長

清水 信彦
(第86期 昭和59年卒)

白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様には、日頃より本校の振興と教育活動へのご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。私は、本校に赴任して3年目となりました清水信彦と申します。私自身、86期生の同窓会の一員ですので、校長として母校に赴任できたことに喜びと光栄を感じながら、充実した日々を過ごしております。微力ではありますが、道内有数の歴史と伝統を誇る名門函中のさらなる充実・発展に向けて尽力してまいり所存ですので、どうぞよろしく願い申し上げます。ここで、学校の近況等をご報告させていただきます。

在校生パフォーマンス披露会を開催し、本校の歴史と現役生の活躍を一般の方々に観ていただき大々的にPRしました。さらに、10月18日には創立130周年の栄えある母校の歴史を祝う記念講演、式典、祝賀会を挙行了いたします。多数の同窓生の皆様のご出席の中で盛大に開催し、新たな発展につなげるスタートにしたいと強く願っているところです。

ペシヤリスト人材を育成し、文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の指定は今年度は第II期申請に向けた経過措置1年目の第1期6年目となりましたが、この活動をおして、全校生徒が自らが問いを立て、その問いを解決するために、データを活用した探究的な学びを深め、世界で活躍できる科学系人材の育成を目指しています。

難関国立公立大学に多くの合格者を輩出しています。私立大学においても、早稲田、慶応、明治、法政、立教、中央、青山学院など首都圏の大学に多数の合格者を出しており、たゆまぬ努力をし続けた生徒たちの頑張りと実績は北海道内においても順位を上げ高く評価されています。

部局活動については、全校生徒の加入率が約90%の中、今年度も陸上競技部、テニス部、バレーボール部、卓球部、バドミントン部、剣道部、弓道部、囲碁・将棋部、放送局、書道部、ESS（英語・国際交流）部、科学部、水泳など数多くの部局が全道大会への出場を果たし、ここ数年の函中の部局の活躍には目を見張るものがあります。ぜひ多くの部局が次の全国大会へ進出することを大いに期待しているところです。

今年度は同窓会・PTAが母体となり設立された協賛会のもとで、表題をスローガンに創立130周年記念事業が行われる年となります。昨年9月より整理された本校の資料保存室が見事にリニューアルされ、また本年7月の上旬には白楊祭、下旬には丸井今井函館店にて本校の資料特別展示会及び中部高

(1) 創立130周年記念事業

今年度は学校教育目標を改定し、ぜひ中部高校生には社会を率先して創り出す人材へと、大目標を「高志をもち、次代を創造する主体者の育成」としました。付随した目標には、これからの時代に必要なた「自主、協働、創造」の力の育成を目指す形に改定し、達成に向けた最先端の教育を推進してまいりたいと考えています。

設置4年目を迎えた理数科では、理科・数学の専門性を追究するス

(2) 理数科設置4年目・スーパーサイエンスハイスクール（SSH指定校） 第1期6年目

この3月に卒業した5クラス195名の大学受験等の合格者数は、国立公立大学が延べ133名、私立大学延べ182名、大学校2名、海外大学1名、専修学校2名となっています。特に、国立公立大学の現役合格者が卒業生在籍数の68・2%という約70%の高い合格率となりました。内訳は、東京大学3年連続現役合格1名、京都大学3名、大阪大学3名、東北大学8名、北海道大学14名、名古屋大1名の旧帝大への計30名の現役合格者をはじめ、医学部医学科4名、筑波大2名など

(3) 令和6年度（二〇二四年度） 卒業生の進路状況

(4) 健闘光る部局活動



書道部 第13回金子鷗亭記念書道パフォーマンス（松前町）

結びになります。本校は、これからも「白楊魂」を精神的スピリットとして、函中の輝かしい伝統を継承しつつ、社会の動向や未来を見据えた教育活動を積極的に推進し、予測困難な変化の激しい時代に求められている「次代を創造する主体者」として成長し続ける函中生を育む教育を展開してまいります。

同窓生の皆様には、今後とも本校の教育活動に対して多大なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

第48回

親睦大会報告

親睦大会報告



2024年11月2日(土)、
第48回白楊ヶ丘同窓会東京支部
親睦大会が皇居近く千代田区麴
町二番町に佇むホテル「東京グ
リーンパレス」にて開催されま
した。今回の大会は、新型コロナ
ナの分類が5類に変更となつて
2回目となるため、会場での対
面形式のみの開催となりました。

【開会】
おなじみの78期岡部あさ子副
支部長の司会のもと、和やかな
雰囲気の中、定刻どおり午後1
時に開会いたしました。



【支部長挨拶】
白楊ヶ丘同窓会東京支部長76
期の白川正広氏より開会宣言と
東京支部の今後の展望などにつ
いてお話をいただきました。



【同窓会歌斉唱】
懐かしい函館の風景に歌詞が
付いた動画を流し、105期小林理
事の指揮により、皆で斉唱しま
した。



【来賓ご紹介、ご挨拶】
今回は各校同窓会の代表を含め
合計10名のご来賓に参加をいた
だきました。来賓の皆様のご紹
介後、白楊ヶ丘同窓会函館本部

副会長の片岡格氏よりご挨拶と
来年度の函中創立130周年記念行
事についてのお知らせをいた
しました。



【乾杯】
今大会の参加者で卒業期が最
も上であり、59期の評議員、さ
らには東京支部の会計監査も務
めていただいている真船昭様に、
昨年に引き続き乾杯のご発声を
いただきました。真船様は、日
常では、86歳の現在も現役の公
認会計士として活躍していらつ
しゃいます。乾杯の後歓談に移
り、久々の再会の喜びに会場が
包まれました。



【校長先生ご挨拶】

86期の卒業生でもある清水信彦校長先生よりご挨拶をいただきました。我が校の伝統である「文武両道、自主自立の精神」に基づく教育方針について、高い国公立大学進学率や部活動における活躍、生徒の主体性を重視した授業の様子や海外留学制度など現在の学校生活について、画像を交えつつお話しいただきました。



【函館市副市長ご挨拶】

大泉新市長体制のもと、副市長を務められている佐藤聖智子氏（85期）よりご挨拶をいただきました。劇場版「名探偵コナン」とのコラボイベントによる観光客増加、フランスの老舗ワイナリーの誘致、クルーズ船の来函増加などのトピックに加え、函館市として力を入れている「ふるさと納税」、「移住者定住」の取り組み等について、お話しいただきました。会場には、例

年通り、函館市観光部観光推進課より頂いた函館市の観光ポスターを掲示しました。



【インフォメーション】

土方歳三の最後の7か月を描いた小説「テレグラフ・ヒル」を出版された80期小滝亮太郎氏にご登壇いただき、執筆に纏わるエピソードなどをお話しいただきました。（会場内に「テレグラフ・ヒル」の販売コーナーを設置し、人気を集めていました。）

【イベント】

「深めよう、絆・函館⇄東京」というテーマのもと、89期有志の皆さんによる『ふるさとびんご』が開始されました。巧みな話術で魅了する、司会進行を務めた桐山啓子さん、ビンゴアプリを操る長尾真人さん、そして鈴木千雅さん、汐見和理人、4人の抜群のチームワーク

により、会場は大いに盛り上がりました。景品も湯の川温泉ペア宿泊券、函館市からご提供いただいた地酒「五稜」、ふるさと納税の返礼品となっている函館の美味しいものに加え、参加者の皆様から差し入れていただいた函館の商品もあり、函館との絆を再認識できました。



【懐かしく美味しい企画】

イベントが終了する頃には、各テーブルに今や函館を代表するスイーツとなった「スナッフルスのチーズオムレット」が登場しました。函館の工場から直送していただいたもので、「Uber Eats」ならぬ「Cuber Eats」、今回が

初めての企画（第49回でも実施予定）です。



【校歌斉唱・三本締め】

恒例の校歌斉唱では、今回のイベントを担当して下さった89期の皆さんに登壇していただき、会場の全員が起立して、105期小林理事の指揮で、高らかに校歌を斉唱しました。

その後、99期朝緑理事の音頭で三本締めとなり、午後3時半に閉会となりました。

最後になりますが、幹事期ではないものの、写真班としてご活躍していただいた荒谷理事をはじめとする87期の有志の皆様、イベントを企画、運営を引き受けていただいた汐見理事をはじめとする89期有志の皆様、ご協賛いただいた函館市、そしてご参加いただいた全ての皆様により感謝をお伝えしたいと思います。本当にありがとうございました。

（第81期 渡邊 由美子）





第 48 回 親睦大会出席者一覧

2024 年 11 月 2 日(土) 東京グリーンパレス

【来賓】(敬称略)

函館中部高等学校 校長	清水 信彦
白楊ヶ丘同窓会 副会長	片岡 格
白楊ヶ丘同窓会札幌支部 支部長	黒田 信彦
白楊ヶ丘同窓会関西支部 副支部長	利一 裕子
函館市 副市長	佐藤 聖智子
函館西高等学校つゝじヶ丘同窓会 東京支部 会長	折田 信一
函館東高等学校 関東青雲同窓会 幹事長	土肥 健作
函館商業高等学校 東京函商同窓会 会長	道下 佳拓
函館工業高等学校同窓会 関東支部 支部長	本間 和吉
函館ラ・サール学園同窓会東京支部 支部長	富樫 雄一

59 期 (昭和 32 年卒) 真船 昭、笠原 静雄
 60 期 (昭和 33 年卒) 飯田 幸平、水江 彰一
 64 期 (昭和 37 年卒) 上田 健司、大原 淳一、田中 公子
 65 期 (昭和 38 年卒) 越前 彬
 67 期 (昭和 40 年卒) 相馬 研二、松田 幹夫
 68 期 (昭和 41 年卒) 白崎 淳一郎、大河原 綾子、木戸 正文、山本 晴義
 69 期 (昭和 42 年卒) 佐藤 一廣、梅田 五郎、梅田 やよい、奥野 政博、
 河村 裕、伊東 英一、渡辺 敏正、松坂 きみえ
 71 期 (昭和 44 年卒) 成田 秀信、古川 哲朗
 72 期 (昭和 45 年卒) 小林 繁治、佐野 香苗、松本 浩
 73 期 (昭和 46 年卒) 山田 朗、小栗 卓司、小野田 和子
 75 期 (昭和 48 年卒) 金丸 洋一
 76 期 (昭和 49 年卒) 白川 正広
 78 期 (昭和 51 年卒) 垣坂 清、岡部 あさ子
 79 期 (昭和 52 年卒) 樋口 澄則
 80 期 (昭和 53 年卒) 片瀬 裕巳、小滝 亮太郎
 81 期 (昭和 54 年卒) 松永 久、松本 由美、渡邊 由美子
 82 期 (昭和 55 年卒) 清水 真
 85 期 (昭和 58 年卒) 松本 弥寿子、幡谷 恵、加戸 茂樹、加戸 幸子、
 西浦 愛恵、小坂 祐一
 86 期 (昭和 59 年卒) 高橋 伸明、根上 健、松木 一成
 87 期 (昭和 60 年卒) 櫻井 直人、松本 篤史、池田 智之、中谷 考志、末永 健、
 荒谷 修司
 88 期 (昭和 61 年卒) 小島 和代、村田 雅彦
 89 期 (昭和 62 年卒) 長尾 昌人、桐山 啓子、鈴木 千雅、汐見 和人
 90 期 (昭和 63 年卒) 新井 久仁子、鹿野 祥子
 92 期 (平成 2 年卒) 坪内 君枝
 94 期 (平成 4 年卒) 山形 リサ
 96 期 (平成 6 年卒) 今田 光信、稲森 康起
 97 期 (平成 7 年卒) 野村 武史
 99 期 (平成 9 年卒) 朝緑 高太
 102 期 (平成 12 年卒) 九十田 周子
 105 期 (平成 15 年卒) 小林 秀輝

来賓 10 名、同窓生 72 名



第6回

新人歓迎会

月島もんじゃ もへじ はなれ

日時：2025年7月6日(日) 11:30～13:30
会費：学生1,000円、学生以外は5,000円

67期 松田 幹夫
69期 佐藤 一廣 梅田 やよい
76期 白川 正広
78期 垣坂 清 岡部 あさ子
81期 松永 久 渡邊 由美子
87期 荒谷 修司 池田 智之
松本 篤史

89期 汐見 和人 長尾 真人
桐山 啓子
90期 鹿野 祥子
105期 小林 秀輝
127期 橋本 彩希 原 和可奈
村本 サキ
(順不同・敬称略 合計19名)



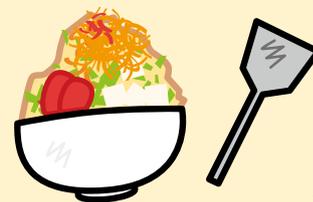
今年の新人歓迎会は、去年に引き続き月島での開催となりました。今回のお店は「月島もんじゃもへじはなれ」。新人歓迎会としては初めてのアルコール解禁で、朝から猛暑だったこともあり、開始前から待ちきれない方もいらっしゃったようです。新人さんは素敵なお嬢さんが3名参加してくださいました。それを迎える東京支部メンバーは67期から127期までの16名、総勢19名での楽しい会となりました。

松永支部長の温かな挨拶が響く中、和やかに会は始まりました。海鮮が美味しいと評判のお店だけあり、最初に出てきたイカ焼きは函館出身の我々から「うまい！」と声上がる美味しさでした。もんじゃは基本的にお店の方が丁寧に準備してくださり、もんじゃ慣れしていなくても安心していただけました。また混雑の中でも常にお客への気配りが行き届いていて、さすが人気店と納得できました。

新人さんとの会話も弾みました。最初は知らない顔ばかりで不安だったと思いますが、同期の会話も楽しんでもらえるよう3名同じテーブルにしたこともあり、すぐに安心していただけたようです。テーブルには支部メンバーが次々と交代で顔を出し、話に花を咲かせていました。高校時代の部活動の話や大学でのサークルの話、また新人さんからは就活や仕事についての質問などもあり、様々な話題で交流を深められたのではと思います。お酒の入っている方も、新人さんを歓迎する場としての節度を保たれていて、さすがみなさん中部の卒業生という印象でした。

今年は特に暑くなるのが早く、函館から出てきたばかりの学生さんは日常生活に慣れるだけでも大変だと思います。少しでも日々の助けになるような簡単な食品類と、今回は東京デザインのスタバカードをおまけに付けて土産としてお渡ししました。夏を乗り切るお役に立てば幸いです。

最後はお店の前で集合写真も撮っていただいて解散となりました。みなさんいい笑顔でした。今後の予定としては秋の親睦大会があります。少し涼しくなる時期でもありますので、それまで元気に過ごしていただき、ぜひまた現地でお会いできればと思います。ご参加お待ちしております。



東京支部 事務局



画業40年

漫画家

好きを仕事にする表現の自由人

山本 直樹

NAOKI YAMAMOTO 80期

【略歴】

- 1960年 松前郡福島町生まれ
5才のときに父親の転勤に伴い森町に引っ越し
森小学校、森中学校へ。中3の時に山越中学校に転校
- 1975年 函館中部高校入学（1978年卒業）
- 1978年 早稲田大学教育学部入学
- 1981年 小池一夫が主催する「劇画村塾」に入塾する
- 1983年 早稲田大学教育学部卒業

【代表作・受賞歴】

- 「極めてかもしだ」 ビッグコミックスピリッツ（小学館）
- 「あさってDANCE」 ビッグコミックスピリッツ（小学館）
1991年、2005年映画化
- 「BLUE」 光文社 1994年映画化
- 「ありがとう」 ビッグコミックスピリッツ（小学館）
1996年映画化
- 「レッド」 イブニング（講談社）2010年第14回文化庁メディア芸術家漫画部門優秀賞

インタビュー：87期 荒谷 修司



■このたびは画業40周年原画展の開催おめでとうございます！私も最終日に行きましたが開場前から並んでいる熱心なファンがいて、凄い熱気を感じました。そもそも漫画家になったキツカケは何だったのでしょうか？

★キツカケは大学2年の時です。当時福生の米軍ハウスで暮らしていたのですが、一緒に住んでいた中部の同級生だった鎌田君と遊びに来た浜本君に「漫画家になつたら」と薦められたんです。読む方は既に漫画マニアで、飲んで酔っ払って漫画の話ばかりしてたら「じゃあ自分で描けば？」と。大学2年の11月のことです。翌日には文房具屋にケント紙とペンと墨汁を買いに行ってみました。それまではまさか自分が描く立場になるなんて思ってもいませんでした。なんか急にスイッチが入ったのでしょね。

■劇画村塾について教えてください。さい。

★漫画家になりたいと思ったものの、試行錯誤と落書きの日々でした。独学でやっていくのに限界を感じていた大学4年になる春休み、帰省先の実家から東京に戻る急行八甲田の車中でビッグコミックスピリッツを読んでいたら、小池一夫さんが主催する「劇画村塾3期生募集」の広告が載っていて、「これだ！」と思いつきました。劇画村塾の1期生には「うる星やつら」や「めざん一刻」で有名な高橋留美子さんがいましたからね。劇画村塾には週に2回通っていたので、いわゆるダブルスクール状態でした。まわりは「漫画家になりたい」とギラギラしていた人ばかりだったので刺激になりました。ちなみに3期生には他にドラゴンクエストを作った堀井雄二さんや北斗の拳で有名な原哲夫さんもいました。

■子どものころから漫画家になりたかったのでしょうか？

★子どものころは怪物とかウルトラマンとかばかり書いていました。中高とバスケットボールや音楽に夢中で、漫画家になるうとは思ってなかったですね。

■漫画家デビューまでの道のりを教えてください。

★就職活動はせずに、漫画家になるものと勝手に確信して描いていきましたが、持ち込みをしても中々うまくいかない日々が続きました。その頃、劇画村塾の



仲間内で同人誌を作った時、ためしに成人向け漫画を描いてみたら周りに褒めてもらえたんですね。それを辰巳出版に持ち込んだのが24歳の時です。担当編集さんにも気に入ってもらい、編集プロダクションを紹介してもらって書いたものがデビュー作となりました。

ビッグコミックスピリッツには86年から「はつば64」という作品で掲載されることになり、憧れの高橋留美子先生と同じ雑誌に掲載されることになりました。当時はスコラでも月2で描くことになったので、ろくに寝ずに書き続ける羽目になり大変な日々でしたね。

■私もスピリッツをずっと読んできましたので先輩の作品はほとんど読みました。特に「ありがとう」は衝撃的な内容でした。ただ、イブニングで連載してきた「レッド」は読んでおりませんでしたので、先週単行本を購入し途中で読みました。この作品は今までの官能的な作風ではなく、「あさま山荘事件」を背景から丁寧に描いたハードボイルドな内容になっていて驚きました。何か狙いはあったのでしょうか。

★狙いというか、半分冗談で「賞が欲しかったから」と言ってるんですが(笑)。昔の飲み仲間だった二宮知子さんが「のだめカンタービレ」で講談社漫画賞を受賞した時のパーティーに行ったら楽しくて「いいなあ、僕も一回賞とか取ってみたいなあ」と。ラッキーなことに「レッド」は「第14回文化庁メディア芸術家漫画部門優秀賞」を受賞しました。真面目に言う連合赤軍事件の当事者たちの描いた本が面白かったので、ノンフィクションで漫画にしてみました。完結まで12年かかりました。大変でしたけど有意義でした。連合赤軍事件に関わった色々な方々に取材させていただくことができたから。取材させていたたくと頭が良くて面白い普通のおじさんで、あのような事件を起こした当事者には見えないのですが、そんな人も閉じた集団に入ってしまうと時として暴走してしまう。人間の命より「言葉」の方が大事になってしまう。それは昔の日本軍でも現代の会社でも学校でもネットでも同じことが言えるかと思います。

■中部高校時代の思い出を教えてください。

★中学校時代はバスケットボール部で、そのまま中部でもバスケットボール部に入部したのですが、あまりのレベルの高さに愕然としました。当時の中学校のバスケットボール界は、新川中学と付属中学が強く、全国大会にも行っていました。その主力メンバー、怪物たちが中部に入部してきたのですから。僕だけ普通の人。その後、補欠兼マネージャーという立場で汗を流すことになり、高校2年の時に松本市で行われたインターハイ全国大会に行けたことが良い思い出ですね。

あと白楊祭の思い出。音楽好きの友達とジャズ喫茶をやりましたよ。アンプ、スピーカーなんかも持ち寄って、爆音でレコードをかけたリね。ドリッパした本格的なコーヒーなんかも



高3の白楊祭

出して楽しかったですね。早稲田大学でも「モダンジャズ研究会」(略称:ダンモ)に入部したので、1年のときのリサイタルの司会者が当時ブレイクし始めた頃のタモリさんでした。タモリさんは10個上のダンモの先輩なんです。ギターは中1で始めましたが、高校時代にグレコのストラトキャスターモデルを買って、オープンしたばかりのサウンドパパで練習してました。会員番号は10番台でした。サウンドパパは、その後GLAYを輩出することになるので、そこから凄いことですね。(因みにサウンドパパは1975年にオープン、今年で50周年)

■江川達也さんの漫画「東京大物語」も中部高校が舞台になっていますが、実は先生が関わっているとか。

★ビッグコミックスピリッツの担当編集が江川さんと一緒だったので、江川さんが函館をえらく気に入ってくれて、函館の高校を舞台にした漫画を描きたいと。それで友人(遺愛高校の先生)を紹介して中部高校を紹介しました。

■在校生や若い卒業生へのメッセージをお願いします

★とにかく面白いことをやってほしいなと思います。今は函館も人口が減ってだいぶ寂しくなりましたが、昔は東京以北で最大の街でした。中部高校や前身の旧制函館中学は政治、経済、文化の分野でも中心的な人材を輩出してきたことをもつと知ってほしいと思います。例えば文人では、亀井勝一郎さん、娯楽小説雑誌「新青年」の水谷準さん、長谷川海太郎さん、久生十蘭さん、検索すると偉大な功績を上げた先輩たちの事を知ることができると思います。

■これからの夢はありますか？
★これからもずっと漫画を書いていきたいと思えます。でもこれからは好きなもの、要は官能的なものしか書きませんけどね。ネタは山程あるので。あとはバンド活動※をしながらテニスもします。



取材時スナック

※バンド活動：自身のバンド「ブレメン」ではボーカルとギターを担当。都内ライブハウスを中心に活動中。





ドラマー

世界に刻め！函館の BEAT

吉村 玄

GEN YOSHIMURA 118期



1997年 函館生まれ（千代ヶ岱小学校～的場中学校）
2013年4月 函館中部高校入学
2016年3月 函館中部高校卒業
2016年9月 パークリー音楽大学（パフォーマンス学科）入学
2020年5月 パークリー音楽大学卒業
2021年9月 ロンジースクールオブミュージック大学院に入学
2023年5月 ロンジースクールオブミュージック大学院卒業
2023年9月～ボストンを拠点に演奏活動を行う傍ら、ニューイングランド音楽大学にて、ジャズドラムやアンサンブルの講師、パークリー音楽大学にて伴奏（助手）を務め、現在に至る。また世界大手のシンバルメーカーのPaiste、ドラムセットメーカーのCanopus Drumsの契約アーティストでもある。

※中部時代の担任の先生

1年：大内英紀先生 2年：池上学志先生 3年：松田治人先生

インタビュー：87期 荒谷 修司



YAMAHA音楽教室にて

■音楽を始めたきっかけを教えてください。

★母の影響が強いですね。母は音楽を深く理解できることは人生活を豊かにすると思っっている人で、僕に音楽を習わせたかったようなのですが、幼稚園児のころはピアノやバイオリンなんかよりスポーツのほうが好きでした。転機は小学1年生の時。母に連れられ、函館市芸術ホールに「打楽器の世界」というコンサートを見に行きました。その時に見た打楽器「カホン」に魅せられ、これならやってみようかなと思ひやまハ音楽教室に通い始めました。初めて教室に行きドアを開けると、そこにあったのはカホンではなく、ドラムセットでした。初めて見るドラムセットは太鼓もあればシンバルもあり、とても格好良く見えて、叩いてみたらこれがまた楽

しくて、週に一度30分のレッスンが楽しみでした。高校を卒業するまで欠かさず通いました。そしてレッスンを受けるうちに、音楽を自分の職業にしたいと思うようになりました。

■子どものころの習い事ってなかなか続かないものですが、ずっと続いているってすごいですね。音楽教室の週一回の30分以外、家やスタジオなどでも練習していたのでしょうか。

★家で本物のドラムセットを叩くと近所迷惑になるので、母のお手製の「練習用ドラムセット」で毎日練習していました。シンバルはヤカンの蓋を利用し、椅子や木材を使ってDIYで作ってくれました。成長に合わせて少しずつサイズを大きくしたり、壊れたら修理をしたりしながら使っていました。母には感謝しきれないです。

■お母さんの愛が感じられますね。弟さんも音楽家との噂を聞きましたか。

★はい。4歳下の弟、吉村仙はサックス奏者です。彼も中部高校を卒業し（122期）、僕と同じパークリー音楽大学を昨年の12月に卒業しました。普段はお互い別々に活動していますが、



二ヶ月に一回程度、「吉村ブラザーズ」という形で一緒にコンサートを行っております。

■子どもの夢に向き合ったお母さんと、兄弟の努力が実ったのです。高校を卒業してすぐに渡米し、バークリー音楽大学に入学するわけですがどういった経緯があったのでしょうか。

★小学6年生から毎年参加していた「北海道グループキャンプ」というワークシヨップで、高校2年の春休み(2015年3月)に「バークリーアワード」を受賞することができました。これを受賞したことで、2015年夏(高校3年の時)に開催された、バークリー音楽大学でのサマープログラムの授業料が全額免除になりました。そこで高いレベルの授業を体験したことでバークリー音楽大学を受験しようという決め、2016年9月に授業料全額免除の特待生として入学することができました。

■夢への扉は高2の春休みだったのです。今はどういった活動をされているのでしょうか。
★音楽活動として、グラミー賞受賞アーティストも含めた世界レベルの音楽家と、コンサートやレコーディングを行っていま

す。また、音楽大学での講師として世界最高峰の音楽大学のひとつであるニューヨークランド音楽大学で、ジャズドラム、ジャズアンサンブルの指導を行っています。また、母校のバークリー音楽大学でも助手として伴奏の仕事をしています。

■函館にはたまに帰省しているのでしょうか？

★昨年(2024年)の夏に約一ヶ月間、二年ぶりに帰省しました。たくさん温泉に浸かって、美味しいご飯も食べてとてもラックスできました。高校時代にあつたお店が無くなっていて、ちょっと寂しくもなりましたね。

■これからの予定というか夢みたいなものを教えてください。
★これからもアメリカで音楽活動や作曲、指導などをしながら、世界中の方々によい音楽を発信していきたいと思っています。

■最後に在校生たちにメッセージをお願いします。
★中部高校に合格した時、「中部に受かったんだから音楽をやめて勉強にまい進しろ」と何人かの大人から言われました。しかしアメリカに来て、音楽で身

を立てるためには学力が伴っている必要があることを実感しました。そういう点では中部高校での学びが大変役に立ちました。それから、最近「努力」とか「忍耐」とかは時代に合わないという風潮がありますが、夢に近づく実現するためには強いメンタルが必要です。世の中の「風潮」に流されることなく、努力を続けてください。



instagram @gen.yoshimura
https://www.genyoshimuramusic.com



左上：ポストンで出会ったミュージシャン達とのライブ風景。
右上：北海道グループキャンプで出会い、指導をいただいた世界的ピアニスト、Daniela Schachterさんのバンドで。13年後ポストンで、今度は仕事仲間として。
左下：世界的フルート奏者、Fernando Brandaoさんのバンドでの演奏後。

同期会だより



母校で英語の記念授業の実施

第60期 飯田 幸平

1 はじめに

2023年10月に東京で開催された三・三会にて、参加者会員から「次回開催は母校のある函館で」の要望を受け、函館支部が各支部に呼びかけていただき、函館での開催となりました。今回の目玉は東京支部が提案した母校での「英語の記念授業」でした。

2 三・三会函館の開催

2024年10月2日(水)11時頃から函館駅前プレミアホテルに三々、五々集まり、幹事の山村さん、西田さん、品川さんが受付をし、函中三・三会の葉を配布しました。お互い久しぶりに会う元気な姿に皆やや興奮気味、全国各地から35人が参加しました。



相乗りし母校を目指しました。正面玄関で担当の教師に迎えられ、授業中の廊下を静かに歩いて教室に入った途端、当時の生徒になって姿勢を正しました。担当の教師から歓迎の挨拶を受け、皆緊張した所で母校でも教師を務めた同期生の先生役水江彰一さんが教壇に立ち授業が開始されました。英語のことわざと同じ意味の日本のことわざの比較の説明後、理解度のテストがありました。テスト内容は当時の清野先生並みで一同真剣に取り組みました。

なんと満点をとった生徒が2名おり、流石と参加者は感心し、先生も当時の脳力の退化が無いことで、嬉しそうでした。

この授業は北海道新聞の記事にもなり、10月9日付朝刊函館版「みなみ風746号：同期生が教師 母校で授業」に掲載されました。

授業終了後は担当の教師に案内されて校内見学。旧体育館が撤去されて広々としたグラウンド、資料館では懐かしい当時の構内風景等の写真、亀井勝一郎と児玉作左衛門の講演の様子や学校関係の諸記録、運動関係の記録などがありました。資料が増えることで新しい資料館設置計画もある由、期待しています。

教室に戻って校長先生から歓迎の挨拶がありました。85歳の卒業生が集団の学校訪問は初めての経験で、しかも記念授業迄実施していただき率直に感激し、感謝の言葉がありました。

母校の職員皆さんの暖かい見送りを受けて、タクシーに相乗

りし、懇親会会場のプレミアホテルに戻りました。

懇親会会場では函館幹事の森さんによる開会の挨拶から始まりました。遠路参加の謝辞と、長生きをすればこそ集まることのできる幸せを感じていました。

東京幹事の内藤さんが母校に行けた感激と、参加者皆さんの益々のご健勝を祈って乾杯をして、懇親会が始まりました。進行は飯田が買って出ました。

昨年、一昨年の三・三会で逢えなかった人との会話では、その後の本人と同期生の消息に一憂一喜し、学校の思い出話に興じました。何度聞いても楽しいのは同じ釜の飯を食ったためでしょう。

一段落してから、近況は一番遠路の神戸の奥寺さんが口火をきり、卒業後、転校後の友との交流、取り組んだ仕事の思い出、現況などの報告がありました。

再会を約束して懇親会は終了し、隣の部屋の参加希望者の二次会に移りました。高校時代の初めて聞く吃驚した話や、近況では話をしなかつたことなどが次々出て大いに盛り上がりました。名残惜しい時間も過ぎ、友との再会の幸せを感じながら散会しました。

行政書士白川事務所

代表 白川正広 (76期)

mail : shirakawamasa@ybb.ne.jp
https://shirakawamasagyosei.com/

火ばしら会 東京支部



昭和42年

69期

3 終わりに

母校での「英語の記念授業」の北海道新聞社への取材依頼や日程調整は、函館幹事の伊藤忠臣さんにすべて取り仕切っていただき、感謝しています。

今回の三・三会の企画は、参加の皆さんにとっては懐かしの母校で当時の高校生に帰ることが出来、長生きのご褒美になったことでしょう。

開催の準備を担当した函館三・三会の幹事の皆さんにお礼申し上げます。

第68期 白崎 淳一郎
よいよい会新年会を開催

2025年1月25日 看板に函館の名前のある秋葉原の居酒屋で、同期13名（内女性7名）が集まり新年会を行いました。2時間飲み放題付きのコース料理で全員喜寿なのに意外と酒量が上がりました。

各自近況報告を行ったのですが、ご多分に漏れず病気の話しや孫の話、実施している健康方法や趣味などの話しになり、これに対する質問と補足説明などで一時間半があつという間に、

高校時代に戻った気分なのか、女性の方の数が少し多いせいなのか、男性陣は一人を除いてタジタジに。宴たけなわで時間終了ということで集合写真をパチリ。

今年創立130周年を迎えますが、個人で参加するのも良いけれど、函館や札幌の同期とも逢いたいね、おそらく皆で会えるのはこれが最後になるかも。という話が出たので、不肖私白崎が東京支部の同窓会親睦大会でビンゴの函館のホテルのペア宿泊券をもらったこともあり、函館に行ったついでに仲間と連絡を取り、その結果を踏まえて対応を検討しようということになりました。前回は2015年10月17日にホテル法華クラブで47名が参加して盛大に再会を祝したので、今回も同程度の同期会が開ければと思っています。

話し足りない方々が9名（内女性5名）おり、同じ居酒屋の上の階にあるカラオケ店に移動そこで2時間たっぷり笑い歌い楽しみました。新型コロナ禍でカラオケが暫くぶりの私も3曲ほど歌いました。全員最低3曲くらいは歌ったと思いますが、皆が知っている歌ばかりなのに、不思議と選曲は被りませんでし

た。さすが年の功です。昭和の世界にどっぷりと浸ることができました。

ちなみに「よいよい会」とは昭和41年卒の「41(よい)と良い」のゴロ合わせです。決して「酔い、宵い」会や脳卒中中等の「ヨイヨイ」会でもありません。

なお幹事の木戸君はご母堂様が亡くなり、函館に行っているため欠席となりました。謹んでお悔やみ申し上げます。



2年連続で同期会を開催
第70期 佐藤 勝義

我々の同期会は長らく中断しておりましたが、去年、ようやく6年ぶりに開催する事が出来ました。その時に、来年もぜひ、また会おうと言う事になり、6月3日(火曜日)に2年連続の開催となりました。場所は、北海道人にとっては「東京の表玄関である上野駅」の駅前にあるカラオケ店で(去年と同じ場所)開催しました。

当日は、遠く札幌と函館からの参加者もあり、総勢21名が集まりました。会場がカラオケ店であつても、歌は一切なし！3、4人のグループがいくつも自然と出来上がり、もつぱら「飲んで」、「おしゃべり」をして、花を咲かせていました。

カラオケ店と言っても、お酒の種類も豊富で、料理もリーズナブルの割には「質」、「量」共に申し分なく、幹事さんの並々ならぬ努力を伺い知る事ができました。今回も、大変ご苦勞様でした。3年連続となる来年もぜひ、またよろしく願います！

か と
弁護士 加戸茂樹 (85期)
(第二東京弁護士会所属)
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-8-3 四谷三信ビル5階
四谷東法律事務所
電話 03(5366)1601 FAX 03(5366)1602

函館活鮮居酒屋 魚和 (うおなぎ)
「東京白楊だよりを見た」
と言っていたらワンドリンクサービス！
ご予約：0138-76-8389
函館市松風町4-10 (松風町電停から徒歩3分 / 155m)
営業時間：17:00～00:00 (L.O.23:30)
休日：不定休 (ネットの予約カレンダーをご確認いただくか、お問い合わせください)



楽しい時間も、あっという間に過ぎ、さらに時間を惜しんで二次会へ！
 当日は、あいにくの雨でしたが、みなさん元気に傘を差して向かって行きました。
 来年は、我々「70期生」は喜寿を迎える、節目の年です。（早生まれの方はもう少し後ですが・・・）
 みんなで、また集まって、にぎやかにお祝いをしましょう。再会を楽しみにしています！



東京臥牛会ゴルフコンペは、東高・西高・中部が持ち回りで幹事を行って各同窓会間の親睦を深めるために行っているもので、今年は西高が幹事で4月24日（木）、茨城県の「サミットゴルフクラブ」にて総参加者15名によって開催されました。
 当同窓会からは、67期の安田康次さん、72期の佐藤禎子さん、松本浩さんの3名が参加されました。当日は晴天に恵まれ競技成績以上に参加者間の親睦を深めることができましたと思われまます。さて、来年は我が中部が幹事の予定です。また、コロナ影響で途絶えておりました白楊ヶ丘同窓会メンバーによる「ポプラ会ゴルフコンペ」を年内に開催してほしいとの要望があり、企画中です。年代を問わず、より多くの方のご参加を期待しております。（記 白川 正広）

晴天に恵まれ
 第7回東京臥牛会ゴルフコンペ開催

～坂の途中の小さな Bar 居心地の良い時間と空間を share できますように～

Bar Shares Hishii パーシェアーズ ヒシイ

マスター：入村泰朗（87期）
 函館市元町 27-1（護国神社坂の中腹）：電話：0138-22-5584



函館の写真募集中!
 kaihou@kanchu.tokyo



函館の写真募集中!

随想 募集します
 伝えたいことなど
 1000字程度で
 お送りください



募集! 自薦他薦問わず

1コマ高24×幅95mm
 5000円
 2コマ10000円
 4コマ20000円



広告募集

お問合せ・お申込み kaihou@kanchu.tokyo

函中なのに、

東京さつき会に 48 人もが集結!

遠方からの人も、初参加の人も、常連さんも再会を楽しみました
 来年も、この5月恒例のさつき会でお会いしましょう

函中72期東京同期会(東京さつき会)

(広告協賛) 渡部総合法律事務所 新宿御苑前 電話03-3355-5415(代)



★ 2024年5月東京さつき会集合写真 ★

なるほど!

中部高校

the TUBU

部活紹介 科学部



R6 全道理科研究発表大会にて

●なぜ科学部は素晴らしい実績を継続して残せているのでしょうか？

SSH指定校であるため、実験環境が整っていることが強みです。また、顧問・副顧問の先生と実験の要点や注意点と話し合うことで、実験でやるべきポイントが見えてくるということも大きいです。

●研究テーマはどのように決定していますか？

新しい研究を始める年度もありますが、我々は先輩方の研究を引き継ぎ、そこに疑問点や改善点を加えて研究テーマとしました。

●研究を進める中で、どのようなことが難しかったですか？

大沼の水質調査といっても、大沼に流れてくる栄養の状態や大沼自体の状態など、多くの条件が影響するので、それらを調べてわかりやすくまとめる結論付けることが難しかったです。(大沼研究班)

業を組み立てるのが難しかったです。(海藻班)

●研究を通して発信したいことはありますか？

昔の大沼は泳いでも大丈夫な水質でしたが、今は綺麗な水質とは程遠い状態になっています。いずれは以前の水質に戻したいと思っています。(大沼研究班)
高校生でも可能なアルギン酸の抽出手順を固められたので、今後の高校生が実験できるように情報を発信していきたいと思えます。また、アルギン酸はプラスチックの代用品や衣料素材として近年注目されており、持続可能な社会において重要な物質になると思っていますので、そのような理解が広まって欲しいという思いを込めて研究しています。(海藻班)

令和4年度に地学部と生物部が統合して科学部となり、全道理科研究発表大会で総合賞を含む様々な賞を受賞し全国総文祭への推薦を得るなど、輝かしい成績を収めました。今後の活躍が楽しみな科学部をご紹介します。

【研究班】

■大沼研究班

七飯町・大沼の水圏環境を研究

■マイクロプラスチック班

函館近海の魚類に含まれているマイクロプラスチックを研究

■海藻班

昆布に含まれるアルギン酸の

【令和6年度の主な実績】

■全道理科研究発表大会

・「昆布からのアルギン酸抽出手順の効率化」(化学部門)

・2年海藻班が総合賞、さらに日本化学会北海道支部研究奨励賞(高校生の部)を受賞

・「渡島大沼流入河川に含まれる成分の季節変動と鉄の存在形態」(地学部門)

・2年大沼研究班が総合賞を受賞(2年連続)

抽出方法を北海道大学水産学部・大木淳之教授のご指導のもと研究

■アレロパシー班

植物が持つアレロパシー物質の特徴を研究

・「サンドイッチ法によるマリールゴールドのアレロパシー活性の有意差の調査」(ポスター審査部門)

・1年アレロパシー班が最高賞である優秀ポスター賞を受賞

【インタビュー】

今回、科学部の躍進について大沼研究班と海藻班にインタビューさせていただきました(部員の皆様、ご協力ありがとうございました)。

昆布からアルギン酸を抽出する手順は高校生にとって高価な素材を使うため難しいという課題があり、効率化を研究しています。その中で、授業で習った化学の知識や反応理論を基に作



R6 全国高等学校総合文化祭(卒業生)

部活紹介 書道部



書道部は、全国大会出場のほか、白楊祭や地域での書道パフォーマンスなど、校内外で幅広く活躍しています。今回は部長の山田多恵（やまだ・たえ）さんにインタビューさせていただきます（山田さん、ご協力ありがとうございました！）。

【山田多恵さんプロフィール】

- ・書道部部长
- ・1年生から書道部に入部し、支部大会を突破して高文連全道大会へ出品。
- ・隷書を中心に勉強し、近代詩文書にも積極的に取り組む。
- ・1年生冬、第74回北海道学生書道展覧会にて特選受賞。
- ・2年生の高文連全道大会で連盟賞を受賞し、全国総文祭への出場権を得る。
- ・令和7年7月末に行われる全国総文祭書道部門に参加。

【近年の実績】

- ・3年連続全国総文祭書道部門へ出場。（創部以来7人目）
- ・毎年多くの部員が支部大会を突破し、高文連全道大会に出品。
- ・高文連主催大会以外の各種展

覧会にも多数入賞。
・展覧会活動のほか、白楊祭などで書道パフォーマンスを披露しており、昨年度は市内の小学校へ向いて書道パフォーマンスを披露するなど、多方面で地域貢献。

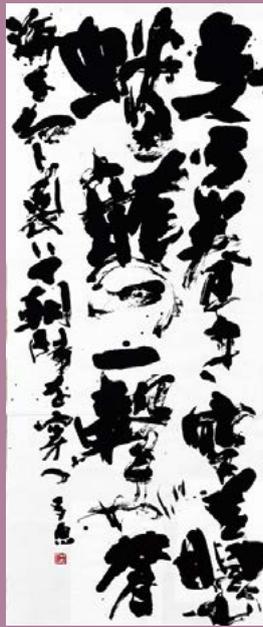
【インタビュー】

●いろいろな書体があるなかで、隷書に取り組むことにしたきっかけは？
1年生の頃に練習していた木簡には草書に近いものと隷書に近いものがあり、そこで隷書に取り組んだことがきっかけです。1年生の頃の全道大会は木簡で出場しました。

●全道・全国大会に参加してみてどのようなことを感じましたか？
1年生の全道大会で、同学年の生徒が全国に出場したのを見て、線の引き方や取り組み方を改善する必要があると感じ、いろいろな作品を見てより勉強しました。

●今後、どのようなものを書いてみたいですか？
今までは隷書の中でも古隷に取り組んでいましたが、他の書体に挑戦してみたいです。また、近代詩文書の創作を続けていきたいです。

（科学部・書道部ともに
小林 秀輝 105期 記）



全国推薦作品
臨 楊准表紀
35 × 136cm

全国大会出品作
「箱館の夜明け」
70 × 181cm
釈文「とぐる巻き空を睨む
蟠龍の一撃が蒼海を切り裂いて
朝陽を穿つ」

会員短信

令和6年8月〜令和7年7月
迄の会費の払込票と返信はが
きのメッセージから



●奥村 ヒロ子 (S30年卒57期)
いつも連絡有難うございます。

●小竹(滝田)嘉子(S30年卒57期)
毎年東京白楊日より、楽しみに
しております。親睦大会も出
席したいのですが、同期の方々
の御都合も悪く残念でなりません。
一人ではねー。2023年
9月の函館の同窓会は出席させ
て頂きました。57期は9人でした。
最近の子供達に見せるため戦争の
お話し紙芝居を作成しています！
「南京球簾」を習い22年目になり「七
色とうがらしうり」など楽しんでい
ます。

●佐々木弘明 (S30年卒57期)
「だより」の充実には目を見はるも
のがあります。

●野村 敦子 (S30年卒57期)
米寿になりましたが元気で居ります。
御盛會をお祈り申し上げます。

●吉田 精吾 (S30年卒57期)
元気で「米寿」を迎え、これから
は「人生100年」を目ざして「笑顔
で楽しく」をモットーに興味やボラ
ンティア活動にもうひとふんばりし
たいと念じております。

●五十嵐 克至 (S31年卒58期)
「ご案内ありがとうございます。会
の盛況をお祈りいたします。

●及川 守 (S32年卒59期)
僅かですが、寄付をお送りします。
札幌に行き、北大卒で亡くなられ
た旧友にお参りしてきました。

●鏡原 澄子 (S32年卒59期)
立派な「東京白楊だより」を有難
うございます。同期の幹事さんのお
世話でなんとか同期会には参加さ
せていただいています。

●早乙女 琢磨 (S32年卒59期)
東京白楊だより、ありがとうござ
います。些少ではございますが、
「ご活用下さい。47号楽しく
拝見しました。ご苦勞様でした。
小滝亮太郎氏の記事、とても二丁
クな視点の函館への思い、楽しく拝
見させていただきました。函館生ま
れ函館育ちにはない視点でもと新
鮮でした。

●飯田 幸平 (S33年卒60期)
コロナ禍終了以来、各支部に呼び
かけて、3回目の同期会を函館で
2024年10月に開催します。楽
しみがまた増えます。

●伊藤 紀子 (S33年卒60期)
順調に老化が進み、杖でも歩くの
も大変になりました。ご盛會を祈っ
ています。

きません。盛會を祈っております。

●内藤 尚 (S33年卒60期)
60期は今年も函館に全国から集ま
ります。みんなに会えるのが楽しみ
です。

●加藤 紀興 (S34年卒61期)
些少ですが、寄付金として送ります。
61期生も高齢化が進み、病弱者や
音信不通者が多くなっています。同
窓会活動はあまり期待できません。

●佐藤(間瀬) 穎 (S34年卒61期)
東京白楊だより嬉しく拝見して心
綻びます。ありがとうございます。
年会費免除ということで、ささやか
ですが寄付をお送りいたします。総
務会計担当「ご苦勞様です。

●合田 京一 (S35年卒62期)
幹事の皆様には「ご苦勞様の一言で
す。いつも函館を思い出しながら読
んでいます。表紙のフォトいいです
ね!! 親睦大会の盛會を祈っており
ます。

●五野井 隆史 (S35年卒62期)
「東京白楊だより」をお送り頂き有
難うございました。

●酒井 隆行 (S35年卒62期)
10月末にはサンフランシスコから南
アメリカ周遊の旅に出かけますので
残念ながら第48回親睦大会には出
られません。皆様の御繁栄を祈念
いたします。

●上田 健司 (S37年卒64期)
会報を楽しく読んでいます。津軽
海峡をフェリーで渡り、函館山に登
るのが毎年の目標です。

●大原 淳一 (S37年卒64期)
80歳を越えてから頭と体力がまず
まず弱ってきております。若い後輩
達の元氣をもらいたいです。幹事の
皆様ありがとうございます。

●佐藤 宣践 (S37年卒64期)
事務局の皆様、いつも有難うござい
ます。「東京白楊だより」は同窓の
絆に大いに貢献していると思います。
これからも頑張ってください。表紙を
見るだけで諸々の思い出が蘇って来
ます。

●田中(浅野) 公子 (S37年卒64期)
東京白楊だより、しっかりと読ませ
ていただきました。どれも楽しく拝
読、特に「函・中・人」はやっぱり
り中部はすこいと嬉しくなりました。
23年6月、64期44回同期会(ラス
ト同期会)開催。今まで幹事をやっ
て下さった小林信さんがその後体
調を崩し、24年5月力尽きました。
大変大きな損失。言葉もありませ
ん。心からの感謝と哀悼の意を表
します。

●越前 彬 (S38年卒65期)
持病より暑さにまいています。お
身体大事に、活躍を願っています。

●小嶋 正歳 (S38年卒65期)
地元の年一度の最大イベントと重
なりました。協力する旨連絡済みな
ので同窓会の方は失礼します。盛
會をご祈念申し上げます。

●林 奥 (S38年卒65期)
今年80歳となりましたが、年齢相
応の活動ができていくことに感謝し
つつ、日々ゆくりゆったり生活して

います。函館と母校の発展をお祈
ります。

●渡辺 千穂子 (S38年卒65期)
同期の方がいらしたら、とりあえず
元氣でいますとお伝えください。

●石塚 昌子 (S39年卒66期)
何もお手伝い出来ずに、幹事(お
世話役)の皆様によりしくお伝え
くださいませ。

●安田 康次 (S40年卒67期)
親睦大会の出欠を出し忘れてしま
い、大変申し訳ありません。どうに
か元氣にしております。皆様によろ
しくお伝え下さい。

●ロビンソン 尚子 (S40年卒67期)
8月より渡米しております。お知
らせが遅くなり申し訳ございません。
いつもありがとうございます。

●今井 浩三 (S41年卒68期)
函中人が大いに活躍されることを
祈っております。

●大河原 綾子 (S41年卒68期)
家終いに今年も避暑をかね実家へ。
函館駅はコナンのスタンプラリーも
行っていて観光客でにぎわっています
た。開港165周年函館港祭りのパレ
ドを何十年ぶりに見るのができま
した。6500人の踊り手におも
わず手拍子。平日は老人だらけの
街がこの夜は浴衣を着て夜店を回
る若者がいっぱい。函館も捨てたも
んじやないと思いつきました。
頭の中は港おどり、いかおどりのメ
ロディーでいっぱいです。

●木村脩司（S41年卒68期）
 コロナが明けて、久しぶりに同期の会がもたれました。楽しい一夜を過ごしました。

●三浦章三郎（S41年卒68期）
 親睦大会は所用があり欠席致します。東京白楊だより47号は字も大きくなり、カラー版の美しい仕上がりでじっくりと拝見させていただきました。同窓の皆様は活躍に元気をいただいています。編集の皆様は感謝申し上げます。

●會津（江澤）富士代（S42年卒69期）
 昨年は残念ながら欠席でしたが今年はいります。皆様に会いたいもの。

●小川 厚子（S42年卒69期）
 いつもご連絡ありがとうございます。最近足が痛く、遠出は避けるようになり、残念ながら出席は遠慮致します。

●金子（庄司）茂子（S42年卒69期）
 いつも楽しみに会報読んでいただいております。例年より暑く長い夏にすっかりバテて涼しくなるのを願う毎日の今日この頃です。皆様もご自愛を。

●近藤（瀬川）千寿子（S42年卒69期）
 東京白楊だより、いつも楽しみに読んでおります。電車に乗って遠出（外出）は億劫になってきて、年を感じるようになってきました。

●笹 光政（S42年卒69期）
 いつもお知らせいただき有難うございます。おかげで皆さんの「近況を知れます。

●林野水）千恵子（S42年卒69期）
 故、萩原校長の出身地（桜島出身）桜島岳の噴煙を鹿児島から毎日眺めて、早50年が過ぎました。故郷の函館山、どうか変わらぬようにして下さい。東京白楊だより、楽しみにしています。大会準備大変でしょうが頑張ってください。成功お祈り致します。

●松坂 きみえ（S42年卒69期）
 役員の方、お疲れさまです。

●山本 進一（S42年卒69期）
 立派な名簿ありがとうございます。

●宮田 司（S43年卒70期）
 和歌山の訪問と前後する為、欠席します。

●安彦 敏郎（S44年卒71期）
 東京白楊だより、ありがとうございます。非常勤ですが、高校教師を続けております。いつか一度出席してみたいと思います。

●川村 哲雄（S44年卒71期）
 銀行勤務時代のOB会と同日同時に重複して残念ですが欠席します。2025年は中部高校の創立130周年ですので盛大なる親睦大会開催を祈念します。

●久保 純一（S44年卒71期）
 お陰様で元気です。白楊祭での仮装行列や、合唱コンクールでクラスがひとつになって練習に励み、優勝したことが良き思い出です。

●柴田 陽（S44年卒71期）
 表紙の写真、函館が写り函館町並みが写りとても懐かしくなります。卒業生頑張っていますね。白楊魂

誇らしくなります。

●出崎 太郎（S44年卒71期）
 故郷の江差に戻って7年になります。東京白楊だより楽しく読ませていただいております。今後ともよろしくお願いたします。

●古川 哲朗（S44年卒71期）
 若手の方々を中心に、返信をメール等に変更してはいかげんかでしょうか。幹事の方々にはご苦労をおかけし、感謝しています。ありがとうございます。

●栗沢 明正（S45年卒72期）
 東京白楊だより送付有難うございます。東京支部の親睦大会に全く参加出来ず申し訳ありません。皆様方の御多幸をお祈り致します。

●笹川 浩史（S45年卒72期）
 残念ながら所用にて欠席いたします。盛會を祈念いたします。

●佐野 香苗（S45年卒72期）
 旧制中学時代の先輩方から引き継いで来た同窓会東京支部を、たとえ全盛期の様には行かなくても繋ぎ続けて行くことに意味があるのでしょう。そこに「白楊魂」の灯りが存続し、令和の時代を生きる我々に小さな勇気と力を与えてくれると信じています。

●森本 立男（S45年卒72期）
 今年は函館で開催される72期の同期会に出席します。皆様のご健康と盛會をお祈り申し上げます。

●若林 靖史（S45年卒72期）
 とりあえず、元気にやっています。

●沖本 美幸（S46年卒73期）
 ほとんど阿蘇の別荘にいますが、次回に参加できればと思います。

●小栗 卓司（S46年卒73期）
 73期のみなさま、1年後の2025年10月末頃予定（目標）で同期会の準備が進行中です。詳細は追っての準備が進行中です。詳細は追っての準備が進行中です。詳細は追っての準備が進行中です。

●逢見 直人（S47年卒74期）
 同窓会だよりで紹介された小滝亮太郎氏の「テレグラフ・ヒル」を読んでいます。圧倒されそうです。

●篠 晶子（S47年卒74期）
 昨年、卒業後初めて校舎を見学させていただきました。校舎は様変わりしていましたが、当時は懐かしく思い出しました。

●阿部 明夫（S48年卒75期）
 いつもありがとうございます。オーパツリゾートやら台風やらで、先日初めて新幹線で帰省しました。函館本線の旅客廃止などこれから函館はどうなるのだろうと思いましたが、函館だけのことではないのですが。

●小栗 純子（S48年卒75期）
 同窓会運営ありがとうございます。会報「随想」の1月のJAL機衝突事故のご報告と温かいエピソードを読ませて頂きました。14年前に整理解雇されましたが、お詫びとお見舞いを申し上げます。

●金丸 洋一（S48年卒75期）
 お世話様です。函館での函中同窓会に出席したため、こちらの同窓会への出欠ハガキを出すのを遅れてしまい申し訳ありませんでした。出席をお願いします。

●桑原 洋子（S48年卒75期）
 東京白楊だより、楽しく見えています。今年は白内障の手術（両目）をいっぺんにしました。だんだん年を感じます。会報、字の大きさ、カラーも気に入っています。若い人にはインターネットにする等、簡単にしたい方もいますが、このまま続けてほしいです。

●高山 悦子（S49年卒76期）
 「東京白楊だより」ありがとうございます。今年もとても素敵な表紙でさわやかな風を感じました。

●名古屋 彰（S49年卒76期）
 他の予定と重なり、残念ながら親睦大会には出席できません。ご盛會をお祈りしております。

●平澤 博（S49年卒76期）
 昨年3月末で会社を離れ完全な年金受給者となりました。近所に住む長男・長女の家族と穏やかな毎日です。市民農園で野菜作りを始めました。ジャガイモ、キュウリ、トマト等、晴耕雨読の毎日です。

●山森 一（S49年卒76期）
 会報の19ページ随想「九死に一生」を読み手に汗にぎりました。丸山動物園売店からのぬいぐるみ再送付の話にも、ウルウルしていました。

●山森 一（S49年卒76期）
 放送局が全国大会出場報告を見て感激です。私も3年間放送局で毎年NHK高校放送コンテストの創作ラジオドラマ作りに取り組んでました。しかし部員計4名とは。これを機会にたくさん部員が入るといいですね。

放送局が全国大会出場報告を見て感激です。私も3年間放送局で毎年NHK高校放送コンテストの創作ラジオドラマ作りに取り組んでました。しかし部員計4名とは。これを機会にたくさん部員が入るといいですね。

●一戸 昌則 (S51年卒78期)

いつもご案内ありがとうございます。

●上田 (吉川) 裕子 (S51年卒78期)

東京白楊だよりを楽しく読ませていただいております。先輩、同期、後輩各々の活躍ぶりを知り、嬉しい限りです。「モルック世界大会 in 函館」(2024年8月23日〜25日)にボランティアとして参加する事ができました。モルック楽しいですよ！チャンスがあったらぜひ体験してみてください。さらにこのボランティアの中に、ハンドボール部でも一緒だった同期のNさんの姿を発見！懐かしい再会というおまけまでついてきました。

●梅本 慎一 (S51年卒78期)

振込がずいぶんできなくて、申し訳ありませんでした。

●木村 明弘 (S51年卒78期)

当日勤務のため欠席します。幹事、役員の皆さま、いつもありがとうございます。

●高橋 邦明 (S51年卒78期)

皆さんお元気ですか？コロナが流行っているようで極力感染しないよう外出しないように心がけています。出席できませんがよろしくお願ひします。島津君のことは3年の時と同じクラスだったこともあり残念でなりません。

●成田 吉道 (S51年卒78期)

同じ時間帯に別件の予定が入っており参加できません。元気でやっています。また皆様にお会いできることを楽しみにしております。

●山平 匡人 (S51年卒78期)

昨年未より体調を崩してしまいました。現在は療養中です。ただ仕事には何とか出ています。定年退職後、港区内の某マンションの管理員をしています。御盛会をお祈り申し上げます。

●湯浅 裕司 (S51年卒78期)

会報送付ありがとうございます。盛会を所用により欠席致します。盛会を祈念致します。

●小泉 善裕 (S52年卒79期)

なかなか都合がつかず欠席となりますが、皆様に宜しくお伝え下さい。

●柴田 敬 (S52年卒79期)

東京白楊だより47号拝受いたしました。先輩、後輩の活躍を読み、自らの励みになります。親睦大会への参加はできませんが、ご盛会をお祈りしています。

●杉目 小太郎 (S52年卒79期)

2023年10月に函館に移住しました。毎日、函中校舎が観える環境で過ごしております。皆さんの函館への移住を期待します。

●多田 邦夫 (S52年卒79期)

11月2日は函館に帰省しているので出席できません。申しわけありません。

●松田 悦子 (S52年卒79期)

まだ、第2の職場で働いていますが、コロナも落ちついたので、79期の同期会も開催して欲しいです。とりあえず元気で。パリ五輪を観戦してきました。同窓会事務局

お疲れ様です。よろしく願いします。

●山本 恭之 (S52年卒79期)

今年(2024年)一杯で退職しようと思っております。元気なうちに、

●岡田 啓 (S53年卒80期)

なかなか同窓会に参加できずにすみません。

●小滝 亮太郎 (S53年卒80期)

本年度会報の「函・中・人」に登場させていただき誠にありがとうございます。ご関係の皆様にお礼申し上げます。

●片山 直美 (S54年卒81期)

ありがとうございます。仕事のため参加できませんが、皆様の御多幸をお祈りいたします。お元気で過ごして下さい。

●佐藤 公俊 (S54年卒81期)

ゴルフコンペに関する情報をメールしていただけたら嬉しいです。

●佐藤 静人 (S54年卒81期)

先約がありますので欠席になります。●佐柳 由佳 (S54年卒81期)

昨年の東京白楊だよりに書いた「Goto 函館山」に思いがけずたくさんコメントをいただき大感激です。現在も介護帰省の度にカメラをかかえて函館山にのぼっています。

●花輪 泰志 (S57年卒84期)

先日、実家の片付けで帰省しました。函館の街の風景が懐しく感じました。同窓会のご盛会をお祈りしております。

●藤田 めぐみ (S57年卒84期)

事務局の皆様感謝申し上げます。皆様が元気で再会を喜び盛会となりますよう、願っております。

●大山 康子 (S58年卒85期)

東京白楊だよりを毎年楽しく拝見させて頂いております。最近はお親の様子を見に、頻りに函館に帰省しております。気が付けば85期の皆は還暦!!月日が経つのは早いですね。

●佐々木 厚実 (S58年卒85期)

今年も白楊だよりのご送付ありがとうございます。

●丸山 比子 (S58年卒85期)

幹事の皆様、ご苦労様です。9月15日に函館で開催された同期会に参加しました。卒業以来お会いする方も沢山あり、とても楽しい時間を過ごしました。

●酒井 耕一 (S59年卒86期)

函館の歴史が持つ国際性や先駆的な時代での精神を発信していく計画を企てています。

●高岩 こずえ (S59年卒86期)

いつもお世話になっております。親睦大会幹事の皆様、お疲れ様でした。「白楊だより」はなつかしく読ませて頂いております。ありがとうございます。

●川守田 正也 (S61年卒88期)

昨年4月より、沖縄那覇市に転勤となり、東京へは自宅に戻る際にしか居なくなりましたので、親睦大会には参加する事ができず、申し訳ありません。皆様の親睦や交流が

深まる事を願っております。

●山田 力 (S61年卒88期)

遅ればせながら最近ゴルフを始めました。止まっているボールなのに何故か上手く当たらないと思議な現象に悩まされています。

●石畑 琢己 (H2年卒92期)

昨年は幹事のお手伝いを結局できず、申し訳ありませんでした。

●鈴木 (吉谷) 智美 (H2年卒92期)

残念ですが、息子の学校行事と重なってしまい参加できません。どうぞ皆様お元気でお過ごしください。

●萩野 真輔 (H4年卒94期)

親睦大会の大成功と皆様の御健康、御長寿、御活躍を御祈念致します。

●山形 夕佳 (H8年卒98期)

ドジャースタジアムへ行ってきました。1日目は大谷のサヨナラ、2日目は山本由伸投手先発！ファンの皆さんに愛され、親のような気持ちで帰国しました。98期、そろそろ集まりそうなの…

●村越 貴仁 (H22年卒112期)

世界で活躍する中部高校応援します。

●狩野 修吾 (H30年卒120期)

息子は世田谷の小学校とラクロスの二刀流で頑張っています。東京支部の活躍を期待しています。(父狩野宏邦)



会計係より年会費納入のお願い

白楊ヶ丘同窓会東京支部は、会員の皆様からお寄せいただく年会費やご寄付により運営されております。昨年度も、多数の皆様にご支援・ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。年会費は3,000円となっており、今年度は66期以降の方にお支払いをお願いしております。65期より上の期の皆様におかれましては、年会費は免除とさせていただきます、ご寄付をお願いしております。昨年度は333名と2023年度よりも多くの皆様より年会費をお納めいただきました。また、ご寄付につきましても、昨年度を大きく上回る方にご支援をいただきました。その結果、2024年度は66,233円の黒字決算となりました。皆様の多大なご支援、ご協力に感謝申し上げます。今年度も引き続き経費節減に努めてまいります。①支部活動の柱の一つである「東京白楊だより」の郵送費が、昨年秋に3割程度値上がりしたこと、②今年度は支部サイトリニューアルのための特別予算を組んだこと、③来年度は東京支部設立50周年となり、記念行事を予定していることなどから、引き続き会員皆様のご支援・ご協力を賜りたく、年会費の納入やご寄付をお願い申し上げます。

(事務局・会計担当 81期 渡邊 由美子)

年会費やご寄付は以下の方法で納入いただくことができます。

① 会報に同封の「払込取扱票」を使ってご送金いただく場合 ゆうちょ銀行または郵便局の窓口やATMからご送金ください。

- ※振込手数料は無料です（東京支部で負担します）
- ※卒業期（または卒業年）を忘れずにご記入ください。
- ※「払込取扱票」の紛失などにより、ご自身で記入される場合の情報は下記のとおりとなります。

- ・加入者名：「白楊ヶ丘同窓会東京支部（ハクヨウガオカドウソウカイトウキヨウシブ）」
- ・口座記号番号：「00190-1-124291」
- ※同封した「払込取扱票」では、コンビニや銀行からの送金ではできません。



② 同封の「払込取扱票」を使用せず、直接銀行口座にお振込いただく場合 東京支部では下記4つの口座を開設しておりますので、ネットバンキング他の方法で直接ご送金ください。

- | | | |
|----------|-------------------|------------|
| ・みずほ銀行 | 溝ノ口支店 | 普通 2712051 |
| ・三井住友銀行 | 鎌倉支店 | 普通 0202759 |
| ・三菱UFJ銀行 | 用賀出張所 | 普通 0107761 |
| ・ゆうちょ銀行 | 〇一九店
(ゼロイチキョウ) | 当座 0124291 |

- ※なお、振込先口座名義はいずれも、「白楊ヶ丘同窓会東京支部（ハクヨウガオカドウソウカイトウキヨウシブ）」となります。
- ※振込人氏名欄はスペースを空けずに、「期→卒年→氏名」の順でご入力ください。(例)：81S54 ワタナベユミコ
- ※振込手数料が必要な場合は誠に恐れ入りますが、お振込人様のご負担をお願いします。
- 年会費は当年度のみのお納入をお願いしており、会計システムの都合上、遡っての納入又は翌年度以降分としての前納はできません。過分に納入いただきました場合には、当年度の寄付金として収納させていただいております事をご了承ください。

(会計に関するお問い合わせ：会計担当 渡邊 jimukyoku@kanchu.tokyo)

事務局だより (81期 渡邊 由美子 記)

① 2024年度の活動報告

評議員会報告でお知らせした定例の企画や外部団体との交流の他に、長年の課題となっている若い期の皆様と同窓会参加へのきっかけづくりとして、87期以降の皆様にご協力いただき、「新年会の開催」や「高尾山登山（昨年度は荒天により中止）」に取り組みました。また、数年前から行っている「若手同期会補助」も実施しました（詳細はP23のとおり）。

② 2025年度の活動について

4月22日に評議員会で2024年度の決算と2025年度の予算案、ならびに役員改選のご承認をいただき、新支部長のもと2025年度の活動が始まりました。7月6日（日）には、第6回新人歓迎会が開催され（詳細は9ページ）、「東京白楊だより48号」の発行を経て、10月25日（土）には第49回親睦大会が開催されます。現在事務局の担当スタッフが準備を進めています。

③ ワーキンググループ（以下WG）の活動について

昨年は、持続的な支部活動の実現に関するWGを発足し、①会報送付のあり方、②年会費のあり方、③親睦大会幹事期の見直し、④若手の参加、⑤支部活動の情報発信力向上、について検討を行いました。中には、規約改正を必要とするものもあるため、加戸理事（85期・弁護士）をリーダーとして、規約改正のためのWGを新たに立ち上げ、慎重に検討を進めることとなりました。

④ 東京支部公式サイトの全面リニューアル

99期の朝緑理事をリーダーに、東京支部公式サイトの全面リニューアルを行いました。長年の懸案であったサイトのレスポンス化を実現し、PC・スマートフォン・タブレットなど使用機器に関わらず閲覧できるサイトに生まれ変わりました。今後は、SNSの利用にも力を入れ、支部活動の情報発信力向上に努めます。

2025 年度評議員会報告

日時：2025 年 4 月 22 日（火）18：45～19：30 出席者：23 名
場所：インテリジェントロビー・ルコ D2 会議室（新宿区相場町）

< 2025 年度評議員会報告 >

2025 年度の評議員会も対面で開催し、以下の (1)～(5) につき、すべて承認をいただいた。

(1)2024 年度事業報告

7 月 7 日に第 6 回新人歓迎会を開催し、126 期 10 名が参加した。親睦大会は 5 年ぶりに対面のみで開催したが、83 名の参加にとどまった。東京白楊だよりは、コロナが収束したことで開催された同期会の投稿や取材記事のボリュームも多く、28 ページでの発行となった。理事会は、2024 年度も対面での開催は最小限とし、大部分をオンラインで開催した。

(2)2024 年度収支決算報告

諸物価高騰の折、親睦大会参加費を 8000 円から 1 万円に値上げさせていただいたことに加え、年会費・寄付金とも年度当初の見込みを上回った。一方、支出は経費削減を徹底したこともあり、収支バランスが取れた結果になった。また、昨年度の収支状況を鑑み、78 期の岡部副支部長をリーダーとした、「持続的な支部活動の実現」のためのワーキンググループを設置し、78 期～105 期の 14 名で 5 回にわたり議論を交わした。なお、真船監事より監査の結果、収支決算書が正しいことを確認したとの報告を頂いた。

(3)2025 年度事業計画案

昨年度と同様の活動を予定しているが、高尾山登山をはじめ新企画も実施予定である。東京白楊だよりは、例年通りの 24 ページで発行する。

(4)2025 年度収支予算案

長年懸案となっていた東京支部の Web サイトの全面リニューアルや、来年の第 50 回親睦大会に向けた準備のため、支出が収入を 68 万円上回る予算とした。

(5) 役員の選任及び異動の件

今年度は改選期であり、以下のような異動となった。なお、白川支部長は 9 年にわたり、白楊ヶ丘同窓会東京支部の活動の先頭に立ち、牽引して頂いた。改めてここに感謝を申し上げる次第である。

顧問：白川正広（76 期：新）
支部長：松永久（81 期：新）
副支部長：岡部あさ子（78 期）、垣坂 清（78 期）、渡邊由美子（81 期：新）
会 計：渡邊由美子（81 期）、小林秀輝（105 期：新）
監 査：真船 昭（59 期）、片瀬裕巳（80 期）

（81 期 松永久 記）

2024 年度収支実績および 2025 年度予算（単位：円）			
	2024 実績	2025 予算	
収入	年会費収入	999,000	1,005,000
	大会費収入	750,000	850,000
	寄付金収入	373,000	350,000
	会報広告収入	60,000	60,000
	その他	511	0
	合計	2,182,511	2,265,000
支出	大会関連費用	840,633	900,000
	会報関連費用	773,12	780,000
	周年事業費	-	150,000
	サイトリニューアル費用	-	600,000
	その他事業	78,490	73,000
	諸会議費	58,045	55,000
	通信運搬費	47,013	55,000
	旅費交通費	95,850	100,000
	その他運営費	223,128	232,000
	予備費	0	0
	合計	2,116,288	2,945,000
	差引収支残	66,223	-680,000
次期繰越剰余金	4,253,629	3,573,629	

若手同期会補助レポート



2 月 15 日、昨年開催された第 48 回親睦大会をお手伝いさせていただいた 89 期の 5 名で、反省会を兼ねてプチ同窓会に行っておきました。会場は銀座の「SAPORO 大助」です。ここは北海道から直送した新鮮な食材が楽しめて、道産子にも満足いただけるほど美味しいお店です（以前は函館の地酒「五稜」もいただけました）。

盛況に終わった親睦大会のビンゴ大会を思い出しながら、次の機会を想定した景品を考えたり、故郷の話で盛り上がり、とても有意義な時間となりました。

（89 期 汐見 和人 記）



※若手同期会補助とは

幹事期以下の期で、同期会を催す場合、その人数にかかわらず 1 回行うごとに 1 万円の補助を年間 2 回まで行います。ただし、会報に開催結果を寄稿していただくことが条件となります。

ご寄付御礼（敬称略）

2024 年度は 51 名の方からご寄付を頂戴いたしました。ここにお名前を掲載し、御礼に代えさせていただきます。

48 期 山科 喜一
49-50 期 山田 茂
54 期 澤口 幹男、戸根 一也、山田 幸平
55 期 猪木 恒夫、服部 令士
57 期 小竹 嘉子、高見 武彦、水江 晋一
58 期 坪田 憲俊
59 期 及川 守、笠原 静雄、古賀 裕美、早乙女 琢磨、坂口 義弘、古川 セツ
60 期 飯田 幸平、伊藤 紀子、所 明彦、内藤 尚、水江 彰一、渡辺 章子
61 期 片岡 邦子、加藤 紀興、佐藤 穎、三上 和子

62 期 池上 拓磨、五野井 隆史、酒井 隆行、林 雄嗣
63 期 石井 多香子、黒島 利毅
64 期 佐藤 宣践、田中 公子、二宮 信子、藤田 文子
65 期 林 隼
69 期 梅田 五郎、佐藤 一廣、鈴木 健二
73 期 葛西 浩
76 期 東 良典
81 期 松永久
82 期 清水 真
85 期 柳川 清尊
86 期 松木 一成

87 期 荒谷 修司
112 期 村越 貴仁

【現物でのご寄付】

69 期 梅田 やよい
81 期 松永久、渡邊 由美子

本年も引き続き皆様からのご寄付を募っております。お志ある方は、どうぞご協力をお願い申し上げます。

白楊ヶ丘同窓会 東京支部 第49回親睦大会のご案内



とき 2025年10月25日(土)13:00開始(12:30受付開始 15:30終了予定)

ところ 東京グリーンパレス **参加費** 一般 10,000円 学生 1,000円

*会場費や飲食費等の高騰により、昨年より一般の皆様参加費を改定させていただいております。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

東京グリーンパレス ご案内

〒102-0084 東京都千代田区二番町2番地 TEL: 03-5210-4600 (代表)

ACCESS

- ・東京メトロ有楽町線麴町駅(5番出口)徒歩1分
- ・東京メトロ半蔵門線半蔵門駅(5番出口)徒歩5分
- ・JRまたは都営地下鉄新宿線東京メトロ南北線市ヶ谷駅 徒歩7分
- ・JRまたは東京メトロ南北線四ツ谷駅(麴町口)徒歩7分

詳しくは・・・<https://www.tokyogp.com/>



幹事ご挨拶

白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様、今年の親睦大会も昨年と同じ、皇居近く千代田区二番町に佇むホテル「東京グリーンパレス」にて開催いたします。今年の親睦大会のイベントの企画は、理事会メンバーが担当いたします。限られた時間ですが、交流を深め楽しんでいただければ幸いに存じます。

今年のテーマは、『いっぱい話そう、函館の思い出を!』にしました。今年も昨年大好評だった大ビンゴ大会を行います。函館にちなんだ景品を多数ご用意する予定ですので、大いに盛り上がりいただきたいと思います。また、昨年に引き続き、なつかしく美味しい「Chuber Eats」も実施予定です。こちらもどうぞお楽しみに。

最後になりましたが、新型コロナ5類移行後の新人歓迎会にご参加いただいた、125期、126期、127期の皆様、同期のご友人や先輩をお誘いの上、是非ご来場ください。お待ちしております!



(幹事一同)

参加お申込みについて

- ① Web 申込 (推奨): 下記東京支部サイト <https://kanchu.tokyo/> から、申込専用フォームへ移動し、必要事項を入力後、送信してください。
- ② ハガキによる申込: この会報と一緒にお届けした返信用ハガキ(郵送料不要)に必要事項をご記入の上、ご返送ください。

どちらも10月11日(土)締め切りです。

受付担当 渡邊 event@kanchu.tokyo TEL 080-1117-5824 *お問い合わせもこちらへお願いいたします。

《お願い》

- ・当日、受付にて年会費¥3,000を参加費と共に納入ください(大会当日までに納入されていない方のみ)。
- ・当日の飛び入り参加は、原則としてお受けすることはできません。必ず①、②どちらかの方法でお申込みの上、ご来場ください。
- ・キャンセルについて: お申し込み後のキャンセルは、10月23日(木)正午までに下記までご連絡をお願いいたします。
- ・上記締切後、またはご連絡なしのキャンセルにつきましては、参加費相当のキャンセル料のお支払いをお願いする場合がございますことをご了承ください。

白楊ヶ丘同窓会東京支部
ウェブサイト
<https://kanchu.tokyo>



校正協力(87期)
池田 智之・海老名 徹
栗山 ゆかり・小泉 淳
櫻井 直人・末永 健・中谷 考志
松本 篤史・三十蒔 俊之
2・3ページ写真
丹羽 修 72期

友人に「今度、高校の同窓会に行くんだよね。40歳以上上の先輩方も来るんだよ。」という、ほぼ100%驚かれます。毎年親睦大会に参加していると忘れがちですが、幅広い世代の同窓生が母校から遠く離れた地で集まっているという事は、とても特別で、かけがえないことだと思えます。世代交代しながら脈々と受け継がれるこの同窓会を、これからも継続し、発展させていきたいと思えます。(小林 秀輝 105期)

編集後記
「俺等が学生の頃は、函館山の山頂まで高下駄で一直線に登って、内地に行く先輩や友人にエールを送ったものだよ。連絡船に向けて白いハンカチをみんな振ってさ。何年前かの親睦大会で大先輩に同った学生時代のエピソードである。自主自立、自由闊達、質実剛健、堅忍不拔、不撓不屈。毎年函中人の取材をしていて「白楊魂」の精神は脈々と受け継がれていると感じる。「小利口になるなよ」取材時にある先輩に言われた言葉が耳に残っている。(荒谷 修司 87期)